

職業リハ学会通信

NO.149 2017年 3月発行

学会大会

第45回栃木大会のテーマ：『共に成長』からの職リハ支援の進展—インクルーシブ時代の支援における「個性」の意味を問う—

牧 裕夫（作新学院大学）

今回大会の会場となる作新学院大学の臨床相談センターの前に10mもの木蓮の木があります。昨日まで雪が降ろうかという寒さでしたが、少し緩んだ本日、木蓮を見上げますと、びろーどの毛に包まれた蕾を割って、白い花びらが飛び出していました。第45回大会を迎える今年の花の季節が始まりました。大会の準備委員会も4回を数え野崎智仁（国際医療福祉大学）実行委員長の下20名を超えるスタッフを束ねて鋭意準備を進めています。この職業リハ学会通信がみなさまに届くころには、学会ホームページが開設され、口頭・ポスター発表、自主ワークショップの申し込み日程をお示しできるものと思います。

本大会テーマは『『共に成長』からの職リハ支援の進展』となります。ありふれている？様で「共に」としたところには不協和音が響くところですが、しかしながらその不協和音の中に新たな進展があるものと確信するところです。

世界保健機構による障害の捉え方が国際障害分類（ICIDH）から国際生活機能分類（ICF）へ、そしてノーマライゼーションに対する考え方もインテグレーションからインクルーシブへと移行しています。これらにみるように教育、医療、福祉等様々な支援領域に共通して、大きなパラダイムシフトが起こっていることはみなさんご存じのところ、また本学会大会でも度々テーマとされています。これらに共通しているのは、地域の中で私たちは「障害がある人」と「障害のない人」としてお互いが出会うのではなく、お互いに「個性ある者」として出会うということです。

このことは、利用者の「豊かな職業生活」を実現すべく、最大限の可能性を追求する中で出会う利用者と支援者との間でも同じことです。個性ある者同志その相互性において職リハ支援をどう拡張しえるのか、そこでは支援者側の個性の在り方も当然問われるわけです。そこに、本大会のテーマ「共に成長」とした主旨があります。

実行委員長である野崎智仁の主張は「CBR（Community Based Rehabilitation）の再考」です。今日都市圏でのノウハウを地域にではなく、むしろ地域にこそ学ぶべきノウハウがあるのではといつも熱く語っています。今回の栃木大会で開催する意味でもあります。そこでは地域としての「個性」を語ることであり、インクルーシブ時代にふさわしい論点と考えます。スタッフ一同、準備委員会を積み重ねるたびに企画運営だけでなく職リハ支援をめぐる今日について熱く議論を重ねています。

以下、開催にあたり幾つかの留意事項をお示しします。

大会ポスター：大まかなデザインが決まっています。栃木といえば「ギョウザ」「日光猿軍団」（えっ、

お猿さんの高齢化で閉園?)とかとかが登場させるかと、みなさま想像されるかもしれませんが、そこに登場しているのは「キ・ブ・ナ」です。栃木県の方であればみなさん知っているところですが、その奇抜な意匠に野崎智仁氏の「CBR 再考」の精神があふれています。

作新学院大学へのアクセス：昨年夏の甲子園優勝校は作新学院高校です。その高校は宇都宮駅の西側にあり、大学は逆に駅の東側にあります。昨年別の学会があり、少なくとも6人の方が高校にいつてしまいました。重ねてお間違えのないようご留意願います。

アクセスに伴うバスの運行 (その1)：宇都宮駅の東側、作新学院大学へはバスで30分弱ですが、この30分の間に段々と周囲が寂しく、かつ自然豊かになってきます。段々と「こんなところに大学があるのかいな・・・」と不安になってくるかもしれません。大丈夫です。そんなところにも大学はあります。学生数よりもキャンパスを歩く(?)蟻の方が、立命館大学を歩く学生並に多いキャンパスがお迎えします。

アクセスに伴うバスの運行 (その2)：当日スクールバスを増発する予定ですが、一般の交通機関でもアクセスできます。前項のように宇都宮駅を離れるにつれて段々と不安になるかもしれません。周辺寂しい「青陵高校入口」のバス停を降りますと、すぐに交差点がありそれを左に曲がるとすぐキャンパスです。

アクセスに伴うバスの運行 (その3)：周辺寂しい「青陵高校入口」のバス停を降りまして、交差点を曲がりますと、すぐに白い犬がお迎えします。だいたい地べたに寝そべっていますが、しばらく留まって見ているとちゃんとワンワン吠えてくれます。楽しみにしてください(?)。ワンちゃんにお別れをして50mで作新学院大学の第一教育棟が見えてきます。

ホテルの予約：今回、宇都宮市の観光コンベンションセンターの全面協力の下、アクセスにつきましては万難を排して取り組む所存ですが、そのコンベンションセンターから、年間とおして金曜日・土曜日のホテルはビジネス関連の泊まり客で満室になるそうです。是非、本当に早めにホテルの予約をお願いいたします。

懇親会でギョウザ：前述コンベンションセンターからの情報で、懇親会で**100人**を超えると会場にギョウザの屋台を呼べるそうです。例年懇親会では80人位だそうで、みなさん懇親会でギョウザを食べましょう！

宇都宮は日本酒の街：私は日本各地を転勤して参りましたが、宇都宮の日本酒のレベルはかなりなものです。地元の地酒もありますが、東北地方等から県外の有名酒、有名酒の中のレアもんに出会えます。お好きな方は、お声かけください。また全国に知れ渡るカクテルとジャズの街でもあります。併せてよろしくお願いたします。



以上、是非とも懇親会でギョウザの屋台を実現すべく万障お繰り合わせの上ご参集願います。そして熱くこれからの職リハを語りましょう。

第45回学会大会のご案内	1P
2016年度第4回運営理事会報告	3P
選挙結果報告	5P
2017-2018年度運営理事事務分掌	7P
委員会報告	8P
ブロック活動報告	9P
新入会員のお知らせ	10P
事務局からのお知らせ	11P